

福井県の天然記念物（福井県の文化財より）

東 谷 薫

◎ 国の指定文化財

I 動物

1. 越の犬

指定年月日 昭和9. 12. 28

所在地 県内一円

管理者 福井県 石川県 富山県

中北系日本犬に属する中型で強健なからだをしている。毛は荒い綿毛、耳は小さく厚く、まっすぐに前向に立っている。赤犬が多く顔は割合に短く身長50cm体重1.5K程度一見鈍感のように見えるが敏感である。終戦後県内では、ほとんど姿を消し現在では見る事が出来ない。

2. オオサンショウウオ

指定年月日 昭和26. 6

所在地 地域を定めず指定（全県）

管理者 福井県

ハンザキともいう 有尾両生類では最も大きく、現在では日本と中国だけにしか生息していない。

体長40cm～100cm 北九州、山陰 山陽 近畿一帯から岐阜県あたりまで分布している。山間部の清流の岸に穴をつくって生息し群集せず長命である。

ヨーロッパでは地質時代の動物として現在化石で発見され、日本のオオサンショウウオは「生ける化石」として世界学界の関心となっている。

3. アラレガコ

指定年月日 昭和10. 6. 7

所在地 大野市 勝山市 坂井郡 丸岡町 吉田郡上志比村 永平寺町 松岡町
福井市

管理者 福井県

九頭竜川上流に生息している。別名ガコ ガクブツ カマキリ と呼ばれ動物学上はカジカ

族にはいる頭が大きく肩が高く、スタイルはきわめて悪い。大きいものになると20cm以上のものもある。晩秋から初冬にかけ腹部を水面に浮べて産卵のため川を下る。アラレが降る時期腹をアラレに打たれて川を下るので、アラレガコの名がある。

4. イトヨ

指定年月日 昭和9. 5. 1

所在地 大野市

管理者 大野市

地籍国有一筆実測9平方m民有一筆実測約9.72平方m、イトヨ生息地としてはわが国有数のもの、イトヨは普通海に住み小流をさかのぼって産卵繁殖する魚だが、この池のものは海に下らず5月頃から秋にかけてオスは池の底に巣をつくり産卵後はその巣を守り稚魚の養育にあたるというめずらしい習性をもっている。

5. コウノトリ

指定年月日 昭和31. 7. 19

所在地 全県

管理者 福井県

全国的に地域を定めず指定されている特別天然記念物である。ツルに似ていてからだは純白翼の先が黒く足と目のまわりが赤い。松の木などの樹上に巣をつくり4月頃3、4個の卵を産み6月頃巣立つ、エサは小川の小動物をあさり夫婦愛、子どもに対する愛情が深く、ヨーロッパでは子供を授ける鳥としてたしなまれている。江戸時代までは各地にその数が多かったが近年急激に減少し保護対策が急がれていた県鳥であったが今は県内には一羽も生息していない。

6. カモシカ

指定年月日 昭和29. 5. 1

所在地 全県

管理者 福井県

これも全国的に地域を定めず指定されている特別天然記念物である。若狭と滋賀県、京都府との境の山地に多い。

一時は絶滅かと憂慮されたが近年その数を増し、200頭とか400頭とか推定されている。ウシ科の動物でこげ茶、灰茶色のものが多く、やゝ白色系のものもいるが、オレンジ色のは見あたらない。深い山岳地帯に住む単独生活で草食動物である。

Ⅱ 植 物

1. ソテツ

指定年月日 大正 13. 12. 9

所 在 地 三方郡三方町常神

管 理 者 三方町

常神部落の東定吉の庭にある根本より5本に分れ、主幹の周囲5.40m高さ6.00m雌株である。

ソテツは暖地植物で自然分布の北限は鹿児島県であるが、このソテツは自然にはえたものではなくて、インド人が漂流して植えたものであると伝えられている。

2. ダモ

指定年月日 昭和6. 3. 30

所 在 地 小浜市竹原

管 理 者 小浜神社

小浜神社の境内に二株ありその一株は社殿の東方山腹にあって根本から9本になっているので9本ダモの名がある全周囲11m高さ21m、イヌクス別名タブノキ、クスノキ科に属し、常緑の巨樹、花は黄緑色で5月から6月新葉とともに多数の花が咲き葉の上に実を結ぶ。

3. ヤマモミジ

指定年月日 昭和6. 6. 3

所 在 地 小浜市金屋

管 理 者 高野山 真言宗 万徳寺

同寺の庭園にある幹の周囲3.70m枝は四方にひろがりヤマモミジの巨樹として有数なものである。11月頃から深紅となり樹勢は優美である。

4. オハツキイチョウ

指定年月日 昭和10. 8. 27

所 在 地 大飯郡高浜町六路谷

管 理 者 杉森神社

同神社境内に二株あり、一株は社殿東方山腹にある根本との周囲3.50m一株は社殿西側に周囲2.73m結実良好なオハツキイチョウで種実が奇形、葉は小形で変った形をしている。二株とも自生の雌樹で学術上きわめて珍しい貴重な品種である。

5. ケヤキ

指定年月日 昭和10. 6. 7

所在地 大野市友兼

管理者 真宗高田派 専福寺

本堂前山門の横にある。目通り周囲約9m、高さ16mのケヤキの巨木、樹幹約10mの所でところどころに穴やこぶがあるが樹勢が盛んな老樹である。

6. 暖地性植物群落（蒼島）

指定年月日 昭和26. 6. 9

所在地 小浜市加斗

管理者 小浜市

小浜湾内にある島で小浜線加斗駅から2K面積8,250平方m、名の通り常緑樹が繁茂し、タブノキ、ナタオレノキ、ムサシアブミ、カラタチバナ、マンリョウなど55科122種の植物が自生している。大部分は暖地性植物で日本海沿岸の北限となっており植物分布学上重要な地位を占めている。

◎ 県指定の文化財

I 動物 なし

II 植物

1. ソテツ

指定年月日 昭和29. 12. 3

所在地 敦賀市大比田

管理者 休岩寺

根本の周囲307cm長さ510cm根本から4本の枝こわかれ、さらに南側の一枝が3本にわかれ計7本となっている。

2. フジ

指定年月日 昭和29. 12. 3

所在地 坂井郡春江町藤鷲塚

管理者 藤鷲塚区

白山神社境内の北西のすみにある。樹幹は地面から約7mにわたり縦に二つに裂け地上にわだかまっている。そのそばのツバキの枝によりかゝりさらにケヤキの枝にからんで複雑な様相を呈している。すでに老朽したような部分もあって、いたる所に小さな穴があいている。ケヤキが台風のため倒れたので現状は社前にたな作りになっている。

3. 桜

指定年月日 昭和31. 3. 12

所在地 三方郡三方町神子

管理者 三方町

三方町の神子、黒山、小川坂、田尻、小浜、露谷の若狭湾内の常神半島神子地区南端に長さ約1,000mにわたって144本の山ザクラが紅紫色、濃紅色、黄緑色など、入江に咲みだれる景はすばらしい。同地区大音家古文書には「寛保二年(1742)藩の奨励で部落開墾の際各人の境界線にこれらのサクラを植えたものである」とある。200年以上の樹齢の樹々である。

4. ムクの木

指定年月日 昭和31. 3. 12

所在地 遠敷郡名田庄村下

管理者 下区

刈田比売神社の境内にある高さ約16m幹の太さ約8.5m、県の代表的なムクの巨樹、樹齢約800～1,000年と推定される。老衰の色はなく樹勢は非常におう盛である。

5. 金明竹

指定年月日 昭和31. 3. 12

所在地 坂井郡芦原町赤尾

管理者 坪田豊吉

芦原町赤尾地区の東方の丘陵地、東斜面に大小300本程群生している。金明竹はマダケの一変種で高さ2mから3m枝は美しい黄金色、特に若竹はすばらしく年を経るにしたがって次第にかっ色となる。明治34年現所有者が坂井郡金津町永臨寺から一株移したものが繁殖したものである。

6. カゴノ木

指定年月日 昭和32. 7. 30

所在地 三方郡三方町小川

管理者 小川神社

三方町小川の小川神社の玉ガキ辺に成育した巨木で周囲5.34m、高さ約12.90mのカゴノ木で県下では一番大きなものである。

7. ヤマモモ

指定年月日 昭和32. 7. 30

所在地 三方郡三方町食見

管理者 桜井政吉

三方町食見地区の西南、山の中腹にある。樹幹3.54m雌木で果実もよく実り昭和30年落雷にあったが樹勢は今なお盛んである。

この地方は、むかしは、ヤマモモをまきとして暖房用に使っていた。この樹は数度の伐採にまぬがれ現在に至った貴重なものである。

8. カツラ

指定年月日 昭和34. 9. 1

所在地 大野市下打波

管理者 白山神社

下打波の白山神社の石鳥居近くの斜面に神木として保護されている。

根本の廻り15.0m、地上から約2.80mのところでは主幹が多くの支幹に分れ主なるものが18本もある。太い支幹は周囲3.30mで葉もよく茂り樹勢も非常に盛んである。これは、雄株である。

9. フジ

指定年月日 昭和34. 9. 1

所在地 遠敷郡名田庄村三重

管理者 三重区

名田庄村三重の若宮八幡神社の境内にある。幹の太さ約2.40m、枝の長さ東西約15m、南北30mで樹勢は非常におう盛で堂々と雄大に成育している。樹齢は500年前後と推定される。花期は五月中旬で色は紫で花ぶさの長さは35cm程もある見事なフジである。

10. ウラジロガシ

指定年月日 昭和34. 9. 1

所在地 大飯郡大飯町福谷

管理者 福谷区

大飯町福谷の伊射枝(いぎなぎ)神社境内にある。高さ約12.00mで地上6.00mの所で4本の枝にわかれうち3本は枯れているが南側の一本が繁茂している。ウラジロガシは、ブナ科でこの木は下の方に大きな空洞があるが天正年間土豪の兵火のため焼けた跡であるという。

11 スギ

指定年月日 昭和39. 6. 5

所在地 今立郡今立町大滝

管理者 大滝神社

今立町大滝の大滝神社奥の丘の頂上にある根まわり9.80m、高さ23.00mで、枝はりは東西24.50m、南北21.00m、近くの杉を圧倒して人目を引いている。

長年風雪にさらされいかにも老樹という感じがするスギの巨樹である。

12 桜

指定年月日 昭和39. 6. 5.

所在地 今立郡今立町大滝

管理者 大滝神社

今立町大滝神社本殿から奥の院に通ずる参道の途中の林の中にある。

地上3.00mの所で二またに分れており高さ約23.00m、枝張東西19.20m南北21.20mで幹には古いキツタが一面にからんでいる。(別名ゼンマイザクラともいう)

13 ケヤキ

指定年月日 昭和39. 6. 5

所在地 今立郡今立町室谷

管理者 水間神社

今立町室谷の水間神社の拝殿西側にある。幹の周囲11.20m、高さ23.00mで北側の地上4.00mのところで枝が4本に分れ樹勢は盛んである。同神社の境内や参道にはケヤキが多いがこの木がとくに目立っている。

14 ツバキ

指定年月日 昭和39. 6. 5

所在地 遠敷郡上中町瓜生

管理者 須部神社

上中町瓜生区未野の須部神社社務所の前にある。幹は地上2.00mのところで4本に分れ、主幹の根廻りは3.30m目通1.80mで、樹冠は東西7.95m南北7.90mの非常に整った形をしている。花は紅色単弁、ヤブツバキで毎年約15Kgばかりのツバキの実がとれる。ツバキの老巨木として貴重なものである。

15 オニヒバ

指定年月日 昭和39. 6. 5

所在地 坂井郡春江町西方寺

管理者 紀部神社

春江町西方寺の紀部神社の社殿東側にある。県内でまれに見るヒノキの老樹で、地上3.00mの所で幹が同じ太さで4本にわかれ各枝はそれぞれまっすぐに上に向ってのびている。

主幹目通り3.10mで高さは約10.70m、枝張りは東西21.00m、南北15.00mである。

むかし将軍がオニを退治したのでこの名があると伝えられている。

16 スギ

指定年月日 昭和39. 6. 5

所在地 今立郡池田町稲荷

管理者 須波阿須疑神社

池田町稲荷の須波阿須疑神社の後方約300mの山の中にある。

同社の神木として常にシメナワをかけて大切に保護されている。主幹の根廻りは11.70mで目通り8.60m高さは約40.00mもあり枝張りは東西、南北共に12.00mある。樹勢はきわめて旺盛で県内のスギの代表的なものである。

17 カツラ

指定年月日 昭和39. 6. 5

所在地 敦賀市鰐ノ河内仙人谷

管理者 森本新左エ門

敦賀市鰐ノ河内の仙人谷を谷川にそって登りつめた不便なガケぶちにはえている。

一株が大小12本の幹にわかれている。この内、周囲3.00mのものが3本ある。また折れたまま幹の間に横たわっているものもある。株の根廻り15.50mで高さは約20.00m枝張りは東西34.00m南北20.00mで、県内のカツラの代表的なものである。

18 サザンカ

指定年月日 昭和40. 5. 18

所在地 小浜市下根来

管理者 曹同宗 見昌寺

下根来の見昌寺の境内にある。根廻り6.12mで高さ8.00m地上1.00mと2.00mのところでそれぞれ二股にわかれている。枝張りも広く、東西12.00m南北10.00mある。花

は一重の紅色で川面にはえる満開の美しさは見事である。

樹齡は相当古いが樹勢は盛んである。

19 松

指定年月日 昭和41. 4. 26

所在地 三方郡三方町世久見坂

管理者 浜頭繁次郎

三方町世久津より世久見坂を少し越えた右斜上約4.000m、道路上の山腹にある。地上約1.90mのところから二股して東側は、クロマツ、西側はアカマツで二股のところは、アカマツ2.50m、クロマツ2.60mの太さがある。二股の太さは、4.80mである。クロマツの高さは約36.00m、アカマツの高さは約55.00mで両松は抱きかかえ完全に癒着し一本のごとく見える。相生の松といっている。

20 サカキ

指定年月日 昭和41. 4. 26

所在地 小浜市次吉

管理者 吉井甚一

次吉の一言神社の社前にある。目通り周囲1.50m、根廻り1.70mで高さ約14.30m、枝張りは東西12.30m南北11.50m、地上5.80mのところに枝の折れたあとが穴となっている。約50年程前おれたというのが樹勢はまことに旺盛である。

21 ナギ

指定年月日 昭和40. 5. 18

所在地 小浜市西勢

管理者 黒駒神社

西勢の黒駒神社の境内にある。根廻り8.00m高さ約24.60m、枝張り東西18.50m南北19.20mで地上3.00mのところで二股にわかれている。樹齡は不明であるが旺盛である。

22 フジ

指定年月日 昭和40. 5. 18

所在地 小浜市次吉

管理者 高橋正尚

次吉の新福寺境内にある。根まわりは6.12m、枝張りは東西1.30m南北1.70mで高さ

約18.00mもある見事なフジである。ツタがいっぱいまきついていて毎年5月ごろ美しい紫色の花を咲かせる。

県文化財保護委員